令和４年度　合戦場小学校運営基本方針

〇本校の児童には新しいことに積極的に取り組む、好きなことに集中して取り組むといったよい面があり、思いやりの心をもち、優しく人に接することのできる児童が多い。また、指導されると素直に受け止め、直そうとするよさも見られる。

〇一方で粘り強さや我慢強さがやや弱く、授業に集中するのが難しい子、授業に飽きて出歩いてしまう子も複数見られる。また、学びに向かう力や思考力に個人差が見られ、発達障害のある児童など学習上配慮を要する児童が多くいる。

〇本校は 2023 年に 150 周年の節目を迎える。また、学区である合戦場地区は例幣使街道に面した歴史ある街であり、日立創業者である小平浪平翁が生まれた街である。歴史的節目であるこの時期に、自分の街を愛し、偉大な先輩に近づこうとする姿勢を児童に養うことは児童の成長にも役立つ。

〇昨年度の学校運営方針は「家庭・学校・地域のつながりで児童を育てる」であった。地域コーディネーターの小平浪平翁の授業、家庭学習強調週間、読み聞かせボランティアや図書館ボランティアの活動などで成果を上げることができたが、感染症拡大防止の観点から「つながり」を作ることが難しい面も見られた。本年度は昨年度の実績をもとに感染症拡大防止に配慮しつつ、自分の街を愛し、偉大な先輩に近づこうとする「プライド」を育てるために地域と連携した取組を行うことが必要である。

〇そこで本年度の学校運営基本方針を

児童に「合戦場プライド」を育てる

とし、以下の２項目の実践を行うこととする。

１　合戦場地区・小平浪平翁の学習を充実させ、合戦場を誇りに思う姿勢を育てる
・「ふるさと学習」計画に則り、地域学習を進める。
・地域コーディネーターの話を聞く「小平浪平学習」の充実を図る。
・歴史資料室の活用を図る。

２　地域の方とのふれあいの機会をとおして、合戦場のよさに気付かせる
・読み聞かせボランティア、図書館ボランティアを継続する。
・ミシンボランティア等の学習ボランティアを、感染状況を見ながら実施する。
・旗当番の方や交通指導員さんへの挨拶の指導を継続する。